

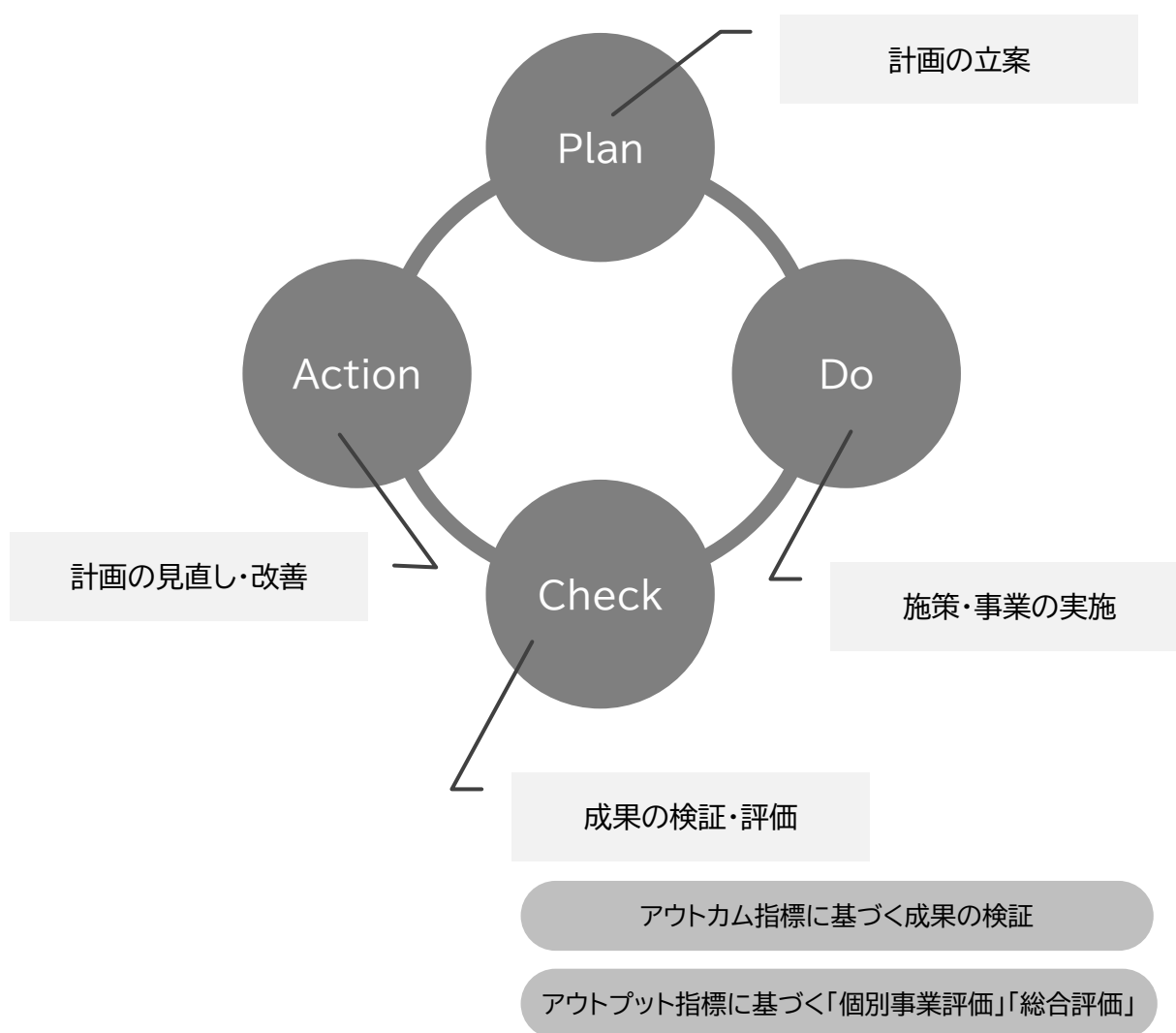
「菊川市こども計画」の評価について

こども計画抜粋

2 数値目標(指標)の設定と進捗管理

本計画の基本理念である「こどもまんなか しあわせのわ きくがわ ～すこやかに育ち 自分らしく輝けるまち～」の実現に向け、第4章・第5章に掲げた施策・事業を着実に推進するとともに、第7章に掲げる「量の見込み」を不断に検証し、適切な「確保の方策」を講じます。

各施策や事業の進捗状況については、PDCAサイクルに沿って、別に設けるアウトカム指標により成果を検証するとともに、アウトプット指標に基づく「個別事業評価」と「総合評価」を行い、結果を毎年度「子ども・子育て会議」において報告します。



No.	事業	成果指標	R6実績値	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R10目標値	R11目標値	担当部署	目標値設定根拠
2	「菊川市こども・わかもの参画宣言」の周知・啓発	出前行政講座実施回数	R7から開始	1回	1回	1回	2回	3回	地域支援課	R7に新設された講座のため、当面はいずれかの中学校で実施する想定で1回としている。将来的には全3校での実施を見込み3回とした。
3	年齢に応じた男女共同参画の啓発	読み聞かせや職業講話、講座等の開催回数	20回	20回	20回	20回	20回	20回	地域支援課	現状全てのこども園で実施できており、また市民、企業向けセミナー等もすでに実施していることから、これらの活動の継続を目標とした。
5	高校生等に対する主権者意識の醸成	出前行政講座実施回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回	総務課	市内高等学校2か所で1回ずつ開催することを目標として設定。R6実績は市内1校で計2回開催した。
13	ボランティア体験活動の推進	ボランティア体験活動の参加者数	538人	540人	540人	540人	540人	540人	社会教育課	コロナ禍以降の通常実施となった令和5年度と令和6年度の実績を基に、維持していくことを目標に設定した。
17	子ども読書活動の推進	読み聞かせ活動の参加者数	2,790人	2,800人	2,800人	2,800人	2,800人	2,800人	図書館	出前行政講座(おはなし会)の開催を見込み、R6実績を10人上回る目標値を設定した。
21	児童館の運営	児童館の来館者数	40,398人	46,800人	46,800人	46,800人	46,800人	46,800人	子育て応援課	R6実績にR7の開館日48日増を見込み、46,800人(1か月3,900人)で見込んだ。(R6目標値:62,000人)
27	妊婦訪問支援事業	対象者への訪問件数	21件	20件	20件	20件	20件	20件	子育て応援課	例年、転入を含む妊婦のうち20%弱(60人前後)がハイリスク妊婦として支援。そのうち訪問支援が必要な延べ件数はR5、R6と20余件であったことから20件とした。
30	産後ケア事業	産後ケア事業の利用者数	60人	60人	60人	60人	60人	60人	子育て応援課	市及び産科医療機関等からの当事業の周知と利用勧奨によりR6年度の利用実績が大幅に増加したため、R6年度を基準に目標数値を設定した。
38	発達に関する相談支援	相談対応件数	162件	140件	140件	140件	140件	140件	子育て応援課	R6年度の実績は162件だったが、近隣の病院で発達検査を行う子も増加しているため、140件とした。
41	生活困窮者自立支援事業	就労支援利用者のうち、就労を実現できた人数	1人	5人	5人	5人	5人	5人	福祉課	平成28年度から令和3年度(令和2年度はコロナ禍要件緩和により利用者急増により除外)の平均値により設定(H28:6人、H29:8人、H30:5人、R1:2人、R3:2人)
49	自立支援教育訓練の促進	自立支援教育訓練の助成件数	1件	1件	1件	1件	1件	1件	子育て応援課	過去5年の実績から1件とした。引き続き勧奨を行っていく。(R2:0件、R3:2件、R4:0件、R5:0件、R6:1件)
51	お仕事相談所「なでしこワーク」の開催	「なでしこワーク」の利用者数	410人	410人	410人	410人	410人	410人	商工観光課	毎月30名以上の利用を目標としている。コロナが終息し、近年は利用者が増加傾向である。

No.	事業	成果指標	R6実績値	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R10目標値	R11目標値	担当部署	目標値設定根拠
54	療育教室(親子ふれあい教室等)の開催	療育教室の開催回数	106回	100回	100回	100回	100回	100回	子育て応援課	R6年度の実績は106回であったが、低年齢からの入園が増え、開催回数の減少が見込まれるため、100回とする。
55	公立園と私立園の連携によるインクルーシブ教育の推進	公立園職員の民間園訪問指導回数	R7から開始	120回	120回	120回	120回	120回	こども政策課	公立園職員の民間園訪問指導回数 8ヶ月(4・5・8・3月を除く)×15回=120回 現時点では、職員体制や訪問園の都合等により、増やしていくことは難しい。
57	病後児保育事業	病後児保育事業の登録者数	22人	22人	22人	22人	22人	22人	こども政策課	令和6年度の実績を維持する目標値とする。 退園した登録者の分を入園者に登録してもらう。
58	医療的ケア児支援のための小中学校への看護師の配置	配置を要する学校への看護師の配置率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	学校教育課	対象児童生徒が安全に学校生活を送るため。 配置できない場合、登校できない可能性があるため。
76	ヤングケアラーの早期発見	要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催回数	12回	12回	12回	12回	12回	12回	子育て応援課	児童虐待防止対策・ヤングケアラー支援は要対協で管理及びケースの情報共有を行っている。実務者会議を月1回実施していることから、目標数値を年12回とした。
77	子育て世帯訪問支援事業	対象世帯への訪問件数	9件	36件	36件	36件	36件	36件	子育て応援課	本事業を令和6年度に創設。R6年度は年度末に契約した1世帯(9回)の訪問実績だったが、R7年度以降の目標数値は3世帯×月1回×12ヶ月=36回とした。
78	ヤングケアラーに関する調査の実施	調査実施回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回	学校教育課	静岡県教育委員会の調査と併せて実施するため、毎年10月から11月に全小中学校において実施している。ヤングケアラーの疑いのある児童生徒については、その都度、実態把握、支援を行っている。
79	こころの健康相談機関の周知	市HPやSNS、広報紙等による発信回数	3回	3回	3回	3回	3回	3回	健康づくり課	第3次菊川すこやかプランで掲げている指標の実績値と目標値を根拠とした。令和6年度は、こころの健康相談について広報への掲載を年1回、SNSによる周知を年2回実施し、令和7年度以降も同様の目標とした。
81	通学路安全点検の実施	通学路安全点検を実施した学校数	12回	12回	12回	12回	12回	12回	学校教育課	毎年夏休み前までに、全小中学校において実施するため。
87	地域防災訓練への参加の啓発	地区防災連絡会等での地域防災訓練への参加啓発回数	5回	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	危機管理課	令和6年度の実績を維持する目標値とする。 ①校長会での説明1回 ②地区防災連絡会での説明4回
89	青少年街頭生活指導の実施	青少年街頭生活指導の実施回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回	社会教育課	夏休みと冬休みに入る前の7月と12月に1回ずつ実施するため。
91	不妊・不育症治療費助成	不妊・不育症治療費の助成件数	19件	40件	34件	34件	34件	34件	子育て応援課	R7は経過措置分6件、それ以外32件、不育2件とした。R8以降は経過措置分6件を抜いた件数とした。

No.	事業	成果指標	R6実績値	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R10目標値	R11目標値	担当部署	目標値設定根拠
92	プレママ&パパサロンの開催	プレママ&プレパパサロンにおける男性参加率	98%	98%	98%	98%	98%	98%	子育て応援課	共働きの妊婦夫婦が本事業を利用しやすいように平日夜間に開催しているが、仕事の都合で夫が参加できない、もしくはシングルマザーで参加を希望される方がいることから、男性参加率を98%に設定した。
98	こんにちは赤ちゃん事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	対象世帯への訪問率	92.8%	100%	100%	100%	100%	100%	子育て応援課	児童虐待防止事業の一環として4か月までの乳児のいる全ての家庭訪問を目指して実施していく。
100	ファミリー・サポート・センター事業	年間利用件数	259件	53件	53件	53件	53件	53件	子育て応援課	過去3年の実績から平均53件で見込んだ。 (R3:40件、R4:56件、R5:64件 R6目標値:31件)
113	リフレッシュ・一時保育事業 (一時預かり事業幼稚園型を除く)	延べ利用回数	1,296回	1,296回	1,296回	1,296回	1,296回	1,296回	こども政策課	令和6年度の実績を維持する目標値とする。 園の体制等により、これ以上受入枠を増加することは考えにくい。現状の受入枠を維持していく。
127	地産地消の推進	ふるさと給食週間の年間実施回数	3回	3回	3回	3回	3回	3回	教育総務課	年に3回ふるさと給食週間(6月、11月、1月)を実施し、重点的に地産地消を推進する献立を作成する期間を確保します。
130	図書館でのこども向けイベントの開催	こども図書館や親子読書の集い、おはなし会などの開催回数	190回	190回	190回	190回	190回	190回	図書館	年間に開催する行事の開催回数をR6実績と同等と見込み、190回とした。
133	消費者教育の推進	広報紙を活用した消費者教育・トラブル防止啓発の実施回数	4回	4回	4回	4回	4回	4回	商工観光課	広報菊川に3～4か月に1回のペースで消費者トラブルの事例などを掲載し、注意喚起している。他の定期掲載記事とスペースを共有しているため、掲載回数は変動する場合がある。
139	いじめ問題対策連絡協議会	いじめ問題対策連絡協議会の開催回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回	学校教育課	年に2回(6月、2月)開催するため。協議した内容を生徒指導連絡協議会や校長会において共有し、いじめの未然防止、いじめの対応について確認するため。
141	放課後児童クラブの運営	市クラブ全体での待機児童数	31人	25人	20人	15人	10人	10人	こども政策課	徐々に減少させていく目標値とするが、受入施設の拡充を考えていないため、0人にはできない。
145	学舎コミュニティ・スクールの推進	各学舎の学校運営協議会の開催回数	3回	6回	6回	6回	6回	6回	学校教育課	年6回(開催時期は学舎計画による)開催し、目指す子どもの姿や取組について、協議を行うため。
146	部活動の地域移行の推進	令和10年8月までの地域移行種目数	0種目	1種目	3種目	3種目	14種目	14種目	学校教育課	令和10年8月末に全ての種目の休日の地域展開の完了を目指すため。陸上競技、剣道、卓球においては、先行して実施していくため。
152	高校生のための企業説明会の開催	企業説明会の開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回	商工観光課	毎年3月に小笠地区雇用対策協議会事業としてハローワーク掛川、県、学校、企業、行政が連携して実施している事業のため、1回としている。

No.	事業	成果指標	R6実績値	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R10目標値	R11目標値	担当部署	目標値設定根拠
11	起業を志す若者への創業支援【再掲】	創業に係るセミナー・相談への10代～30代の参加者数	15人	10人	10人	10人	10人	10人	産業支援センター	菊川市創業支援等事業計画で掲げている指標(支援対象者数)の目標値を根拠としました。
153	「出会い・交流」の場の創出	ふじのくに出会いサポートセンターの20代・30代の市内登録者数	13人	16人	19人	21人	22人	23人	企画政策課	会員登録料無償期間である令和4年度の20・30代登録者数(23人)を最終目標となるよう設定。(令和5年度以降は登録料は有償となったため、会員数は減少した。)
157	子育て優待カードの促進	子育て優待カード協賛店舗数	119店舗	125店舗	125店舗	125店舗	125店舗	125店舗	子育て応援課	過去5年間の実績から125を目標とした。個人商店を中心に声掛けを行う。(過去5年平均117、R6目標値:140)
158	菊川市地方就職学生支援金の支給	地方就職学生支援金受給者数	0人	1人	1人	2人	2人	3人	市長公室	当初は令和6年度予算額を基に15人で設定したが、国制度の条件が厳しく県内全自治体で実績0件であった。R7からは、引っ越し費用が対象となったが、現状は実績0件のままある。今後も制度の周知に努めるが、実状に合わせて目標値を修正する。
95	妊娠出産時ホームヘルプサービスへの補助【再掲】	サービス利用者数	8人	8人	8人	8人	8人	8人	子育て応援課	利用実績 R3:18人、R4:6人、R5:4人、R6:8人 R6の実績値を目標とした。
160	家庭教育支援の推進	家庭教育支援員活動の活動回数	7回	7回	7回	7回	7回	7回	社会教育課	市内こども園、保育園、小学校、中学校の令和6年度の活動実績を基に、維持していくことを目標に設定した。
93	新米パパ教室(父親支援教室)【再掲】	新米パパ教室の参加者数	36人	30人	30人	30人	30人	30人	子育て応援課	本事業はR6年度に創設。育児手技の実践を伴う教室であることから、年4回開催で1回あたり7～8人の参加を想定しているため、目標設定を30人とした。
164	女性向け就労・就業支援	女性向け就労・就業セミナーの開催数	4回	4回	4回	4回	4回	4回	商工観光課	令和6年度から、なでしこワークと同時に同会場でハローワーク職員によるセミナーを3回、外部講師によるセミナーを1回開催している。新たな試みなので、数年は同内容で実施したいと考えている。
50	高等職業訓練の促進【再掲】	訓練促進給付金又は修了支援給付金の受給者数	4人	1人	1人	1人	1人	1人	子育て応援課	過去5年の実績から1人とした。引き続き勧奨を行っていく。(R2:0人、R3:0人、R4:1人、R5:1人、R6:4人)
165	こども・若者参画協議会の開催	こども・若者参画協議会の開催回数	5回	5回	5回	5回	5回	5回	地域支援課	現状一年を通して定期的に協議会を開催できているため、現状を維持することを目標とした。
169	こども・若者の意見を表明する権利について市職員への周知啓発	職員研修会の開催回数	0回	1回	1回	1回	1回	1回	こども政策課	令和7年度から、対象職員を変えながら、年1回実施していく計画であり、年1回の開催が妥当であるとする。

No.	事業	成果指標	R6実績値	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R10目標値	R11目標値	担当部署	目標値設定根拠
166	オンラインプラットフォームの活用 推進【再掲】	「こえのもりしずおか」の菊川市 ページの登録者数	30人	400人	400人	400人	400人	400人	地域支援課	R6.5.1時点で児童数2,586人、生徒数1,288人、合計3,874人。常葉菊川高校 約1,100人・小笠高校 約560人 総計5,534人 約5,500人に対し、統計学上有意な回答を得るために必要なサンプルサイズは計算上359人。これに若手社会人の登録を加味して400人を目標とした。なお、R8以降は対象年齢外となる方がいるため、増減なしとした。
172	委員会や審議会等へのこども・若者の登用	こども・若者を登用した審議会等の数	1	1	2	2	3	3	こども政策課	令和7年度に庁内へ呼びかけ、以後2年ごとに1つ増やしていく目標値とする。
173	こども・若者向けの人材育成講座等の開催	こども・若者向けのまちづくり講座開催回数	5回	5回	5回	5回	5回	5回	地域支援課	現在実施している高校生まちづくりスクールの実施回数を想定している。今後他の講座が追加された場合は目標を増加させることも検討する。
174	総合的学習や探究学習への協力	市内学校への出前行政講座の実施回数	47回	50回	50回	50回	50回	50回	地域支援課	市内各小学校で出前講座は積極的に活用されており、この状況を維持していきたい。
176	こども・若者参画支援交付金制度の運用	交付金を受給して活動した団体の数	5団体	10団体	10団体	10団体	10団体	10団体	地域支援課	制度が開始されたばかりであるため、R7予算における上限である10団体を目標とした。
177	こども・若者への情報発信の充実	SNSを活用した情報発信回数	4,279回	3,500回	3,500回	3,500回	3,500回	3,500回	市長公室	媒体別発信件数(目標)内訳 Facebook 800回 Instagram 700回 LINE(プッシュ通知) 500回 LINE(VOOM投稿) 500回 X 800回 dボタン 200回 ※R6は20周年事業の影響で回数増
178	こども・若者の活動の場や機会を確保するマッチングの推進	マッチングが成立した件数	11件	11件	20件	20件	20件	20件	地域支援課	R8年度から市民協働センターの運営業務委託を新たに締結する。その際、こども・若者の活動支援を仕様に盛り込む予定であるため、令和8年度から増加する目標とした。